



在京古高同窓会会報
第59号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局

☎・FAX (042) 494-1598
URL: <http://在京古高同窓会.com>
Email: skyoji@jcom.home.ne.jp

発行責任: 大友 文博
編集長: 亀井 明
印刷: (株) ケーヨー

皆さん、ありがとうございます

会長 鹿野 軍勝



皆様、その後如何お過ごしでしょうか。楽しかった新年の集いから早くも三ヶ月が経ちました。色々なことが起きたようでもあり、何も変わっていないような錯覚にも陥っています。

それはさておき、冒頭「皆さん、ありがとうございます」と申し上げている理由を少し説明させて頂きます。御案内の通り、我が「在京古川高等学校同窓会」は、凡そ900名の同窓会員に会報「室雪」を送付したり、新年会や総会（懇親会）への案内をしたりして、お互いの連絡を取り合っているところですが、年会費を頂いている方々が凡そ300名というところで、「賛助金」というご寄附が無いと、同窓会の台所が回って行かない実情にあります。先般「賛助金」のお願いを致しましたところ、凡そ140名の方からご寄附を頂きました。ここに、心から「皆さん、ありがとうございます」とお礼申し上げる次第です。6月24日（土）に恒例の総会・懇親会を開催すべく、目下準備を進めている所です。今回は、同窓生で東京大学大学院農学生命科学研究科の今川和彦先生に、長年にわたる滞米中の波乱万丈に満ちたエピソードやら研究

上の面白い話などを伺う予定になっております。皆様とご一緒にお話をお伺いできればと今から楽しみにしております。

また本校は本年創立120周年を迎えます。旧制中学も含めると約2万6千人の卒業生を輩出しております。記念事業などに在京同窓会としても協力・支援していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

ところで、アメリカにトランプ大統領が誕生してから3か月ほど経ちましたが、今の所恐れていた安全保障関係の激変という事は無さそうです。シリア政権側による化学兵器の使用に對して、空軍基地をミサイル攻撃しましたが、政権の後盾になっているロシアとの軍事対立にならないうように抑制されています。また、挑発行為を繰り返している北朝鮮に對しても、最大限の目に見える圧力を駆使しつつ、何とか話し合いの中で北朝鮮に核開発を断念させようとしているようです。さらには、当初厳しい姿勢を取っていた中国に對しても、むしろ中国側の北朝鮮に對する圧力を最大限引き出す方向で動いているようです。このように安全保障関係だけ見ていると、ひと先ずは安心していいのではないかと思います。心しても、わが国にとっては、北朝鮮はもちろん、尖閣の問題を抱える中国、そして近くて親しかるべき隣国で大統領選挙中の韓国、と悩みの種は尽きません。経済貿易の関係をみると、「米国第一主義」という妖刀がどんな形で振り下ろされてくるのか分かりません。まだまだ多くの波乱があるでしょう。丁度フランス大統領選挙の第1回目の投票結果が出

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4月-翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次回会報第60号は2018年1月1日発行予定、原稿は常時受付。

たところですが、何とか最悪の事態は避けられそうで、ほっとしているところですが、

目を国内に転じると、「森友学園」の問題が賑々しく報じられました。何とも奇妙な問題ですが、昭恵夫人の「善意」に付け入った事件なのか、それとも公務員による「忖度」があったか無かったかの問題なのか、更にはもともと無理だった計画に乗せられた多くの人々が犠牲者になった問題なのか、いずれの要素もあったのではと思っています。安全と安心が絡む「豊洲市場」の問題も大きく取り上げられています。安全と言われなくても安心できないという問題にどう答えればいいのかという問題。有害物質の数値は高いとは言え人体に影響はなく、出てくる汚染水は全く使用されないとすることであれば、問題がなさそうですが、如何でしょうか。いつまでも時間とお金を掛けるのが政治ではないかと思っています。それでは、話はこの位にして、総会でまた会いましょう。

ご挨拶

古川高等学校長 金 和宏



在京古高同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動に對して深いご

理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、浅野悟校長先生の後任として着任しました金（こん）と申します。大崎地区への勤務は初めてとなりますが、どうかよろしくお願い致します。出身は登米市石越町ですが、こちらに勤務するようになってからは、懐かしいふるさとに帰ってきたような安堵感を覚えております。

また、新入生が校歌や応援歌を懸命に覚えて歌う姿や、全校生徒が力強く応援練習をする光景を見て、40年以上も前の自身の高校時代が彷彿としてよみがえり、古高の長い歴史と伝統の重みを実感しているところです。

今年度、古高は創立120周年という節目の年を迎えました。「自主自律」「学問尊重」「質実剛健」の校訓とその精神は今にあって変わることもなく生徒に引き継がれ、教育活動の原点となっております。

今の若者には、少子高齢化やグローバル化、情報化の進展などにより、近い将来、これまで誰も経験したことのないような様々な変化が待ち受けているといわれています。また、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことにより、高校では主権者教育の充実も重要なテーマの一つです。大学等への進学のための知識・技能の習得はもちろん大切ですが、多様な経験を積んで視野を広げ、教養を深めていくことがこれまでに以上に求められるものと考えます。

主体的に課題に向き合い、自分の考えを持って判断し、意思決定ができる生徒の育成に努めてまいります。

在京同窓会の皆様には、これまでも増して後輩たちの学びの機会の拡充にお力添えをお願いできれば幸いです。

在京古高同窓会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

お知らせ 平成29年度 在京古高同窓会定時総会・懇親会

【日時】平成29年6月24日(土)
11:30~総会 15:00~懇親会

【会場】上野精養軒 (右図参照)
電話 (03-3821-2181)
JR上野駅公園口から徒歩5分

【会費】8,000円


【講演】今川和彦氏
(東京大学大学院農学生命科学研究科・高等動物教育研究センター 教授)
演題:「生殖技術の貢献、課題、将来への展望」
生殖技術の発展特にクローン、核移植やiPSに焦点を当て生殖技術の貢献、問題点、将来への展望を解説する



【講演講師プロフィール】

【研究分野】
資源動物科学・動物育種繁殖学

【略歴】
1971年(昭46) 古川高校卒業
1975年 茨城大学 農学部 畜産学科畜衛生学卒業
1984年 ネブラスカ州立大学にて繁殖内分泌学で博士号取得
1995年 カンザス州立大学医学部病理学科 Associate Professor
1997年 東大大学院農学生命科学研究科 助教として赴任
2015年 東大大学院農学生命科学研究科 教授



金 和宏 新校長プロフィール

一関一高卒、東京理科大学院卒（修士）（58歳）
 石巻女子、多賀城、宮城第三女子高教諭、石巻北高教頭、県教育委員会教職員課課長補佐
 黒川高校長を経て現職、教科は理科（化学）
 仙台市在住で妻、三女と三人暮らし
 趣味は、ランニング・登山・読書
 中学は、野球部、高校ではラグビー部に所属
 部活顧問はサッカー、ワンダーフォーゲル、自然科学の経験あり

本部同窓会事務局だより

当雪 第59号に 寄せて

古川高校同窓会
会長 渡邊 義之



新緑の季節になりましたが、在京同窓生の皆様はお元気で過ごしてでしょうか。何時も同窓会活動に多大のご理解・ご支援を賜わり感謝に堪えません。

また、鹿野会長さんを中心に、在京同窓会が創意工夫をこらし、素晴らしい活動を展開しております。さて、本部同窓会の動向ですが、今年役員改選の年で、会長

私を初め、多くの役員が退任致します。

新しい会長には、東北大学理事で、医学部教授の現副会長の伊藤貞嘉氏（高24回）に就任して頂くことになり、8月の総会での承認を経て、新しい布陣の体制が発足致します。皆様方には12年もの長きにわたり、不肖私を支援していただき、心から御礼申し上げます。

次に今年の総会ですが、8月5日（土）を予定しており、総会での講演は、新会長の伊藤教授に依頼し、併せて会員の皆様に、新会長さんの卓越した見識と素晴らしいお人柄を理解して頂く絶好の機会だと思っておりますので、是非、総会に参集くださるようご案内いたします。

加えて、今年は母校の創立120周年という記念すべき節目の年です。同窓会でも母校の諸記念事業等に対し、全面的に支援する所存ですので、皆様方には多面的なご協力、ご支援をお願い申し上げます。

また、母校の現状ですが、3月に浅野前校長が定年退職し、4月に後任として金和宏校長が着任致しました。

新校長に対しても、従前同様、連携を密にし、母校を全力でサポートして参ります。

また、在校生の活躍も目覚ましく、文武両道を具現化し、進路でも32年ぶりに東京大学に現役合格者がでるなど大いに成果を上げていることも申し添えます。

終りに在京古高同窓会の益々の発展と皆様方のご活躍を祈念し、挨拶と致します。（昭34年卒）

近況報告

事務局長 遠藤 直樹



風薫る季節がやってまいりましたが、古高在京同窓会の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今年も240名の新人生を迎え、恒例の応援練習がスタートし、さあこれから騰紫定期戦へと士気が高まってきた矢先の4月になんとインフルエンザの大流行があり、まさかの学年閉鎖という措置から2017年の古川高校は始まりませんでした。

さて今年の定期戦は築館高校を会場に13競技で行われました。出だしの綱引き競技でまさかの2連敗の幕開けでしたが、結果的には8勝5敗で古川高校の圧勝で幕を閉じました。

各競技で熱戦を繰り広げ、1年生は応援練習の成果を存分に発揮し、最後には生徒会執行部、応援団を中心とした報告会が行われ、古高生が一つにまとまることのできた定期戦になりました。この勝利が県総体に向けた勢いになってほしいと願っております。

3月に卒業した69回生の進路状況ですが、特筆すべきは32年ぶりに現役東大合格（理I）の吉報が届いたことです。東大合格は在校生や教職員にも刺激や目標とな

り、一ステップ上を目指す足がかりとなりました。

また、それ以外でも昨年よりは人数は少ないものの、多くの国公立合格者を出すことができました。詳細は別表進路一覧をご覧ください。

古川高校は創立120周年を迎え、今年11月2日に記念行事を予定しております。記念講演では本校22回生の東京大学 荒川忠一元教授からご講演をいただきます。

荒川教授は、世界最軽量の汎用小型風力発電システムの開発研究の第一人者ですので、在京同窓会の方も是非足をお運びいただければ幸いです。

また、同窓会独自の創立120周年記念事業といたしましては、記念手ぬぐいと各大会に掲揚する横断幕の製作を進めているところです。

記念の手ぬぐいはこれまで節目の年に製作してきましたが、歴史と伝統を継承する意味で創立120周年記念手ぬぐいは是非製作したいと考えております。製作しました記念手ぬぐいは、在校生や同窓生などに差し上げたいと考えておりますが、その資金の一部

として皆様からのご寄付いただく浄財を当てる計画を進めております。何とぞ趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

本年度の本部同窓会総会は8月5日（土）に大崎市古川の「芙蓉閣」で開催いたします。

今年の記念講演の講師は本校24回生の東北大学医学部教授 伊藤貞嘉教授です。伊藤教授は現在、東北大学研究推進本部URASENター・理事を努めている方で、次期同窓会会長に内定しております。昨年以上の参加者となり、120周年を祝う総会として盛会になりますようお近くの同級生、同窓生をお誘い合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

最後に本部事務局は、同窓生お二人の先生がご栄転なさり、現在4名体制での運営となっております。大きな行事を控えていることなどを始め、在京同窓会を始め、多くの同窓生のお力添え、ご協力が不可欠でありますので、多くのご支援をお願い申し上げます。（昭61年卒）



定期戦：応援団



定期戦：対築館高校戦

東京堂雪賞

去る3月1日に行われた古高第69回卒業式では234名の卒業生が巣立ちました。なお、卒業式前に新卒業生に対して同窓会への入会勧誘を本部及び在京同窓会より行いました。

卒業式には鹿野会長と大友副会長が出席し、生徒会・クラブ活動等生活全般に渡り功績のあった2名、生徒会長の遠藤雄大君（バスケット部）と応援団長の遠山涼君（水泳部）に東京堂雪賞を授与しました。写真。

またこのほかに皆勤賞51名、雪賞5名、仙台堂雪賞2名が表彰されており、本校は今年創立120周年を迎えますがこれまでの卒業生は旧制中学4、126名、高校21、813名、計25、939名に至っております。



左より鹿野会長、遠藤君、遠山君、大友副会長

感謝の言葉

生徒会長 遠藤 雄大

この度、東京堂雪賞という名誉のある賞をいただきましたことを誠に光栄に思います。

加えて、1年でたった1人しか経験できない生徒会長の任を託していただきましたこと、青春まつりだ中の3年間を古川高校で過ごせましたことを誇りに思います。

1年という短い任期で何かを成し遂げるのは容易ではありませんでしたが、変わりつつある社会に対し、古川高校も進化を遂げなければならぬと尽力しました。

私の任期は終わってしまいましたが、私の思いはしっかりと後輩が受け取ってくれていると思います。また、様々なことを考え、悩みながらも挑戦し続けた古川高校での3年間は、私を大きく成長させてくれたと実感しております。

無事卒業し、新たに社会へ旅立とうとする今日このときから皆様と古川高校への恩返しは始まります。また、古川高校の力になれるようこれからも精進していきます。改めてこの度はありがとうございます。

六連覇の夢を

応援団長 遠山 涼

この度は、応援団活動で東

京堂雪賞という名誉のある賞をいただきありがとうございます。

この場を借りて、古川高校同窓会の皆様を始めとする関係者の皆様に感謝を申し上げます。

私はこの1年間、応援団長をやらせていただきました。先代の団長が行った応援団の改革の2年目として、昨年に引き続き、部活を問わない団員集めを行いました。

さらに、今年は共学化の開始から10年を経て、女子生徒が増加してきたことから女子団員の募集を開始した結果、2名の女子団員が入団し、定期戦の勝利に大きく貢献してくれました。

我々、応援団は定期戦での史上初の6連覇へと向け活動しており、ここで負けるというわけにはどうしてもいきませんでした。

2連覇を成し遂げなければいけないというプレッシャーのもとでの定期戦でしたが、応援団員・生徒会役員を始めとする古高生の努力、先生方の支援に支えられ、2連覇を果たし、6連覇の夢を後輩たちへ託すことができました。

私は、これから自分の夢のために古高の誇りを胸に抱いて前進していきます。

古高生諸君もこれから古高がもっとよくなるように頑張ってください。

平成28年度進路状況

国立大 65名 (新卒52名+既卒13名)

大学	学部	男	女	過卒	計
北教大旭川校	教育	1			1
北教大函館校	教育	1	1		2
弘前	教育	2	1	1	4
岩手	人文社会	2			2
	教育		1		1
	理工	3			3
	農	1			1
東北	法	2			2
	経済	1			1
	工		2		2
	農		1		1
宮城教育	教育	5	5	2	12

大学	学部	男	女	過卒	計
秋田	理工		1		1
	医	1			1
山形	人文社会	1	1		2
	地域	1	1		2
	理	2	2		4
	工	1			1
	農	1			1
福島	人文社会	4	1		5
	理工		1		1
茨城	教育	1			1
宇都宮	国際	2			2
	工	1			1

大学	学部	男	女	過卒	計
埼玉	工	2			2
電気通信	情報理工		1		1
東京	理	1			1
新潟	法	1			1
	経済	1			1
	理	1			1
	工	1			1
静岡	人文社会		1		1
岡山	工		1		1
九州	医	1			1
合計		37	15	13	65

公立大 26名 (新卒22名+既卒4名)

大学	学部	男	女	過卒	計
はこだて未来	システム	1	1		2
札幌市立	看護	1	1		2
釧路公立	経済	1			1
青森県立保健	健康科学	1			1
青森公立	経営経済	1	1		2
岩手県立	看護	1	1		2
宮城	事業構想	1	2	1	4
	看護	1	2	3	6

大学	学部	男	女	過卒	計
宮城	食産業	1	1		2
茨城県立医療	保健医療	1			1
高崎経	地域政策	1			1
	経済	4			4
長岡造形	造形		1		1
山梨県立	国際政策	1			1
都留文科	文		1		1
合計		12	10	4	26

私立大 317名 (新卒281名+既卒36名)

大学	学部	男	女	過卒	計
酪農学園	農食環境	1			1
八戸工	工	1			1
青森中央学院	看護	1			1
岩手医	薬		1		1
富士	経済	2			2
盛岡	文		3		3
石巻専修	経営	5			5
	人間	2			2
	理工	6			6
東北学院	文	9	8	4	21
	法	4	11		15
	経済	8	7	1	16
	経営	1	3	1	5
	教養	2	8	2	12
	工	15			15
東北工	工	14	3	1	18
	ライフデ	5	2		7
東北福祉	総合マネ	5		1	6
	総合福祉	9	8		17
	教育	3	10		13
	健康科学	2	9	1	12
東北医薬	医		1		1

大学	学部	男	女	過卒	計
東北医薬	薬	6	1		7
宮城学院女子	学芸		7		7
	現代ビジ		3		3
	教育		1		1
	生活科学		5		5
東北文化学園	総合政策	2			2
	科学技術	3			3
	医療福祉	2			2
尚綱学院	総合人間	3	4		7
日赤秋田看護	看護	1			1
東北芸術工	芸術	1			1
奥羽	歯		1		1
茨城キリスト	文	1			1
流通経済	流通情報	1			1
	スポーツ		2		2
城西	理	1			1
東邦音	音楽	1			1
獨協	法	1			1
	経済	1			1
文教	教育	1			1
平成国際	スポーツ	1			1
日本医療科学	保健医療	1			1

大学	学部	男	女	過卒	計
江戸川	社会	1			1
	メディア	1			1
千葉工	社会シス	1			1
	工		3		3
秀明	学校教師	1			1
北里	獣医	1	3		4
慶応	理工	1			1
国士館	神道文A	1			1
駒澤	法	1			1
	文		2		2
	経営	1			1
芝浦工	工	1	1		2
昭和女子	人間文化	2			2
専修	法	1			1
	経営	1			1
高千穂	経営	1			1
	商	1			1
玉川	文	3			3
	リベラル	1			1
中央	経済	1	1		2
帝京	経済	1			1
東海	体育	1			1

大学	学部	男	女	過卒	計
東京電機	システム		1		1
東京農	国際食料	1			1
東京理	理	1	1		2
	理二		1		1
	工	1	1		2
	理工		3		3
東洋	法	1	1		2
	社会	3			3
	国際イブ	1	1		2
	食環境科	1	1		2
日本	国際関係	1			1
	文理	1	1		2
	芸術	1	1		2
日本体育	体育	1	1		2
文化学園	造形	1	1		2
法政	情報科学	2			2
	理工		1		1
武蔵野	経済	2			2
	グローバ	1			1
明治	政治経済	1	1		2
	理工		2		2
立正	経済	1			1

大学	学部	男	女	過卒	計
立正	地球環境	2			2
早稲田	商	1			1
神奈川	外国語	1			1
	法	1			1
	経済	1			1
鎌倉女子	教育	1			1
関東学院	経済	1			1
	理工	1			1
洗足学園音	音楽		1		1
桐蔭横浜	スポーツ	1			1
東京工芸	芸術	1			1
京都産業	理	1			1
京都女子	文	1			1
京都橘	文	1			1
同志社	文	1			1
	経済	1			1
	生命医科	1			1
立命館	経済		1		1
	情報理工	4			4
関西	システム		1		1
合計		155	126	36	317

第24回 旧古川市内四校新年の集い

四校新年会を

振り返って

昭41年卒 菊地 務

第24回「新年の集い」は1月28日(土)午前11時より例年通り上野精養軒で開催された。

今年の幹事校・古川学園が今までにない最大の動員数で出席者総数241名(古高72名)でスタートしました。

開会宣言の後、四校代表として古川学園同窓会関東支部長の村田征禧さんの挨拶から始まり、古川学園理事長、古高校長・同窓会長、古川黎明校長・同窓会会長、古工校長・同窓会副会長の挨拶が続き、来賓挨拶として伊藤康志市長から大崎市誕生10周年記念事業や東日本大震災の復興状況、大崎耕土の世界農業遺産などについてのお話を頂き、締めくくりとなりました。



伊藤市長挨拶



工藤さんと倉沢さんの共演

その後の公演は、ピアノの倉沢大樹さん、フルートの島田絵里さん、シンガターの岡田政枝さんに加え、当校卒のヴァイオリニストの工藤春彦さんも交えたスプリングコンサートです。毎回そうですが、音楽というものには本当に心を穏やかにしますね！

二部の懇親会では、プロ顔負けの音楽家、乗りに乗った踊りと歌、詩吟のような歌など、お酒が入るとテンションが上がり、2時間以上の立食にも拘わらず喧々譁々と元気を皆さん、あっという間の2時間でした。其の後は、各高校それぞれ二次会に消えていきました。

当校の二次会は、いつものおんか亭が予約出来ず、上野駅近くの居酒屋で20数名の参加者と首都圏大崎連絡協議会会長の佐々木欽三さんにも出席頂きました。



四校38年卒組



元気よく



和気あいあい



藤岡選手を囲んで

本校同窓会長の渡邊さんがして、少しでも多くの同窓生に「出会いと別れ」のお話をなさり、その後お一人ずつお話を頂き、和気あいあいと時間が過ぎてゆきました。

また、三次会に参加される元気の方達に同行した処、同窓会の今後の在り方や前向きな提案などが出され、次回の幹事校として、

次回の四校新年会は吾校が幹事校ですので、出来るだけ多くの同窓生に参加してもらえよう！に皆さんで知恵を出し合いましょ！

(幹事)

＜ 第24回四校合同新年会 古高出席者名簿 ＞

〔四校来賓〕 (敬称略) 伊藤 康志 (大崎市長) 佐々木欽三 (首都圏大崎連絡協議会会長) 伊藤 長市 (東京古川会会長)
〔古高来賓〕 (敬称略) 浅野 悟 (学校長 白石出身) 渡邊 義之 (同窓会会長 S34卒 東大崎出身) 遠藤 直樹 (同窓会事務局長 S61卒 田尻出身)
〔会員70名〕 (カッコ内は出身地)

昭24 門脇 健 (東大崎)	昭30 佐藤 寿哉 (高倉)	昭33 佐藤 厚 (古川)	昭37 中鉢 泰平 (川渡)	昭42 大友 文博 (田尻)	昭46 新堀 豊 (中新田)
昭26 角田 啓輔 (古川)	昭30 曾根 研一 (西大崎)	昭33 高橋 俊裕 (富永)	昭37 飯塚 洋 (瀬峰)	昭42 佐々木 昭美 (田尻)	昭46 森谷 隆 (古川)
昭27 谷地 森 税 (古川)	昭30 高橋 廣 (小野田)	昭33 早坂 義郎 (色麻)	昭37 佐々木 恭次 (古川)	昭42 佐藤 勉 (宮崎)	昭46 秀二 (中新田)
昭27 氏家 明朗 (岩出山)	昭30 平野 武 (長岡)	昭33 三浦 美明 (古川)	昭37 高橋 忠世 (田尻)	昭42 相澤 次雄 (宮崎)	昭46 伊藤 健二 (中新田)
昭29 佐藤 清勝 (中新田)	昭30 三塚 正志 (高清水)	昭35 佐々木 恭二 (北浦)	昭37 遊佐 義男 (古川)	昭44 山中 政法 (中新田)	昭48 石川 克城 (大衛)
昭29 金原 章郎 (古川)	昭30 横山 武 (松山)	昭35 佐々木 武磨 (敷玉)	昭39 後藤 雅正 (宮崎)	昭45 佐々木 質 (田尻)	昭48 加藤 敏朗 (古川)
昭29 菊地 務 (色麻)	昭30 渡辺 吉郎 (志本)	昭35 我妻 一美 (古川)	昭39 笹原 誠一 (古川)	昭45 佐藤 実 (高清水)	昭51 早坂 時男 (古川)
昭30 相原 相 (色麻)	昭31 相澤 昭男 (三本木)	昭36 鹿野 軍勝 (東大崎)	昭39 前沢 義隆 (小牛田)	昭45 藤井 茂樹 (真山)	昭55 明 (小牛田)
昭30 尾崎 光彦 (田尻)	昭31 石川 勝夫 (鳴子)	昭36 齊藤 武夫 (敷玉)	昭41 菊地 務 (古川)	昭46 茂庭 進 (三本木)	昭55 平1 (小野田)
昭30 門脇 喜代志 (東大崎)	昭31 熊谷 正俊 (志田)	昭36 松崎 仁也 (鳴子)	昭41 佐々木 宗實 (古川)	昭46 笠間 邦彦 (浦谷)	昭55 平11 (高清水)
昭30 門脇 敏明 (東大崎)	昭32 野田 利美 (東大崎)	昭37 千坂 孝夫	昭41 高橋 秀之 (古川)	昭46 佐々木 明 (浦谷)	
昭30 佐々木 英三 (志田)	昭33 大友 正行 (松山)		昭41 八木 正志 (川渡)	昭46 鈴木 博 (瀬峰)	

会員による自由投稿

在京古高同窓会の事始め

昭27年卒 春田 紘輔

私は5年間、旧国鉄盛岡勤務後、昭和37年28歳の時、東京本庁総裁室秘書課勤務となり、当時有名な十河信二総裁であり、緊張の毎日であった。転勤は私の柔道が深く関係している。

当時東京には古高に関係する組織的なものは、何も存在してなかった。

しばらくするうちに、東京丸の内駅前新東京ビルの地下に、ギリルマルカンという高級酒場があり、古高28年卒高橋陽一郎さんが支配人として勤務していることが分かった。

さらに、そこには古中昭和9年卒で、極洋捕鯨で専務をやっている多藤省徳さんと捕鯨船団長をやっている青柳勲さんが、常連として来ていることが分かった。私もそこに通ううちに、或る日突然、国会議員に初当選したばかりの伊藤藤宗一郎代議士(昭和16年卒)が現れ、「伊藤藤宗一郎ですが」と挨拶したのが新鮮な姿だったことを覚えていた。この辺から同窓会の芽らしきものが動き出したように思います。

しかし、未だ誰も個人的な知り合い程度で、会にまで立ち上げようという話にはならなかった。ここから長いのである。新宿や上野の居酒屋、料亭などで個人的な顔合わせという形が多かった。その辺りの記憶がはつきりしないの

が残念であるが、何回か会ううちに顔ぶれが多くなり、案内状を出して正式な同窓会として発足するようにするのは、かなり時間がかった。

昭和63年(1988)10月14日、日本都市センター(千代田区平河町)で初めて在京古高同窓会を伊藤藤宗一郎会長のもとで開催しました。当時約130名が集まりました。

その後、伊藤藤宗一郎会長は、約20年その役をされたのであるが、衆議院議長という要職で超多忙のなかでも気を使っておられました。東北人の悪い癖で、有名人の足を引っ張る話があつて、突然会長を辞められたのはびっくりしました。

次期会長に、人格高潔で温厚な高橋淳夫さん(昭和17年卒)になっていたが、会も安定し、事務所も現在の福島大学同窓会館に定着して現在に至っている。

私は、同窓会では副会長として約30年間裏方仕事を続けて来て、一番苦労したのは事務所探しでした。今でこそ安定して当然のごとく信陵会館を使わせていただいておりますが、ここに至るまで数えきれないほど場所を変えました。今が一番安定した恵まれた状態だと思っております。ますますの発展を願っております。

「大崎」氏の由来と

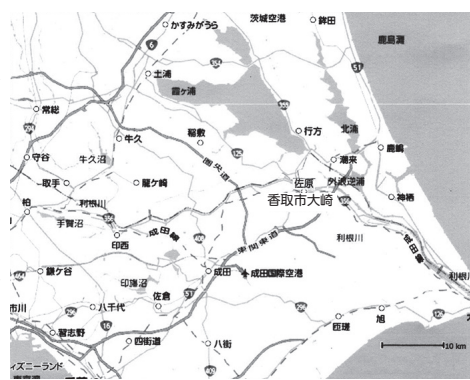
栄枯盛衰

昭38年卒 佐々木 恭次



大崎氏は、南北朝時代に足利尊氏氏の命により、奥州管領として奥州に

下向した斯波家兼(しわいえかね)を始祖とする斯波氏一族であります。斯波家兼は1336年(建武3年)若狭守護(現在の兵庫県)に任じられ、当初は越前・若狭を支配。息子の2代目斯波直持(なおもち)が、足利氏が領していた下総国香取郡大崎(現千葉県香取市大崎)に改めることが始まりです。



斯波家は清和源氏の血筋で、河内(かわち)源氏の流れを汲む足利一門で、いわゆる大崎氏は北朝に属します。名門斯波家の一族として、室町時代に奥州管領(後に奥州探題)・當時は斯波氏、吉良氏、畠山氏、石塔氏の四氏が並立)としての勢力は、大崎5郡(志田郡、玉造郡、賀美郡、遠田郡、栗原郡)の守護大名となり、奥州探題を世襲化して支配を確立し、一族の最上家に出羽一國(山形県)を治めさせました。

に入り、参勤することを義務づけられてました。しかし、室町時代1371年(応安4年)に3代目大崎詮持(あきもち)が奥州探題に任命されますが、室町幕府と直接手を結んで勢力を増した伊達氏(9代目政宗)、蘆名(あしな)氏など有力国人が勢力を拡大するに至り、奥州管領を巡る南朝方吉良氏、畠山氏さらには石塔氏、石橋氏との抗争や、北畠氏を始めとする南朝方の抵抗などで、実質支配できたのは、大崎地方と陸奥国府(現多賀城)周辺だけになり、最終的には大崎地方に割拠する一有力国人へと転落しました。

その後、南北朝末期に入ると、京都幕府と鎌倉府の対立に巻き込まれ、奥羽管領が一時鎌倉府管轄となり、奥州管領は廃止され、大崎氏も他の有力国人と鎌倉府の指揮下に入ります。再び室町幕府と鎌倉府が対立すると伊達氏(9代目政宗)と共に鎌倉府に謀反を謀るが露見して敗れ、1400年(応永7年)大崎詮持は自刃する。更に、4代目大崎満持が伊達氏宗(たねむね)の勢力拡大に圧迫され、大崎氏は世襲の探題職を失い、その権威と権勢は大きく失墜し、葛西氏などとの抗争もあつて次第に衰退していきます。1534年(天文3年)11代当主大崎義直の時には家臣の古川氏、氏家氏、一迫氏などから反旗を翻され、もはや家臣団を統制する力を失い、1536年(天文5年6月)伊達郡西山城の伊達種宗の援軍により、古川城(城主古川持照(もちひろ))を攻め、漸く家臣団の反乱を鎮圧することはできました

が、これを境に大崎氏と伊達氏の関係は逆転し、実質的に伊達氏の配下に置かれました。義直の子13代大崎義隆の時に、分家筋の出羽の最上義光の支援のもと伊達氏からの独立を目指した抗争を開始し、1588年(天正16年2月)に伊達政宗(17代目)との「大崎合戦」では、義隆が勝利しましたが、1589年(天正17年)磐梯山裾野の摺上原(すりあげはら)の戦いで蘆名氏が政宗に滅ぼされると、政宗が名実共に奥州の覇者となり、義隆は政宗の圧迫を受けて伊達氏に臣従しました。

1590年(天正18年)豊臣秀吉の小田原城征伐に大崎義隆と葛西晴信は参陣しなかったため、奥州仕置で所領は没収・改易させられ、秀吉の側近・木村吉清に旧大崎・葛西領13郡30万石を与えられます。

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー



Business Integration Partners BIP株式会社

昭和42年卒

代表取締役 佐々木 昭美

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418 東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp

1590年10月、吉清の圧政で大崎・葛西一揆(家臣団・領民蜂起)が起るも、伊達政宗と蒲生氏郷(うじさと)に鎮圧され、小野城・須江山(現鳴瀬川河口)に招き入れられた大崎・葛西の弓組・鉄砲組の物頭(ものがしら)衆全員殺害され(須江山の惨劇)、大崎家は滅亡しました。

一方、大崎義隆は石田三成を介して所領の回復を求め、1590年(天正18年)12月18日に本知行を三分の一を宛がうという朱印状を豊臣秀吉から得ましたが、大崎・葛西一揆で反故にされ、以後蒲生氏郷(うじさと)に召し抱えられ、氏郷死後越後から会津に移封された上杉景勝に仕え、1603年(慶長8年)8月13日会津で没します。

なお在郷家臣は帰農して、門前や庭に皂莢(さいかち)の木を植え、「政宗に恨みを晴らさん。カサイ勝ち。」と後世に伝えたといわれています。

《大崎家の主な家臣団》
・黒川氏：黒川晴氏 大崎合戦にて大崎氏傘下で伊達政宗軍を破る。
・宮崎氏：宮崎隆治、宮崎隆親
・古川氏：古川持照(もちひろ)、古川忠隆
・一栗氏：一栗放牛、一栗高春
・氏家氏：氏家吉継、氏家隆繼
・伊庭野氏：伊庭野外記、伊庭野惣八郎
・湯山氏：湯山隆信、湯山雅楽充、湯山基綱
・他：一迫氏(隆真)、仁木氏(高家)、新井田氏(隆景、南条隆信、米泉(直行)、長行、四釜隆秀、中目氏、師山氏、中新田氏、平柳氏はか

国重文の 木造千手観音座像の謎

昭和42年卒 大友 文博

今春、大崎市第一号として国の

重要文化財に指定された尻尾北小松の木造千手観音座像Ⅱ写真、中尊寺金色堂の藤原氏にかかわる諸像の一群と類似する作風がうかがえ、12世後半に平泉の寺院の造仏に携わった仏師の手によるものと考えられております。この仏像は大変美しく穏やかな雰囲気を持ち思わぬ手を合わせたくなるほど見る人を魅了する気品にあふれています。

しかしながら、この千手観音が安置されていた小松寺については、10世紀の「日本往生極楽記」や12世紀前半の「今昔物語」の說話に名前が登場している以外、江戸時代以前のことについてはほとんどわかっていません。

明治になって廃寺になっていく小松寺に一体、何故このようなりっぱな仏像が安置されていたのか、だれが何のために作らせたのかは大きな謎です。

唯一の手掛かりは、小松で肝入を務めた鈴木建造家文書「小松寺開山之事」(1750年代頃の著)です。この古文書は平安後期の作といわれる「前九年の役」を扱った軍記物語である「陸奥話記」での小松柵の戦闘記述によく似ていますが、場所など現

在推定されているところとは異なる点があります。

しかし大きな歴史の流れとみれば類似点があるのでこれをベースに推察したいと思えます。「小松寺開山之事」によれば、平安後期の小松寺は安倍良照というものが大僧正をしていたが、寺は源頼義に焼き払われており、後に平泉の藤原清衡に再興され、大いに繁栄したとあります。

この安倍良照とは「前九年の役(1051~62)」で滅亡した安倍頼時の弟です。「前九年の役」とは、岩手から宮城北部に支配を拡大してきた俘囚長(朝廷に帰順した先住民)の豪族安倍頼時、貞任の反乱を陸奥守源頼義、義家が出羽国清原氏の支援を得て平定した戦いです。

当時、安倍良照が小松寺の大僧正をしていたので、安倍氏の寺院・勢力とみなされ、源頼義に焼き払われたのではないかと考えられます。

その後、藤原清衡(1056~1128)が小松寺を再興したとありますが何故なのでしょう。これは清衡の母方は安倍氏であり「後三年の役(1083~87)」を経て、奥州平泉の黄金文化を築いた

た清衡でも「前九年の役」で反乱軍として朝敵となった母方の安倍氏や実父を本拠地の平泉中尊寺などに祀ることはできず、母の叔父のいたといわれる小松寺を菩提寺的な存在として再興し、清衡、あるいは二代基衡が本尊として十一面千手観音菩薩を安置したのではないかと推察できます。

清衡の母は安倍頼時の娘であり、父は陸奥国府の在庁官人藤原経清ですが、安倍氏側であり「前九年の役」で敗れ、祖父、伯父、父が殺されております。清衡の母はその後敵将・清原武則の長男武貞に再嫁し、幼い清衡は養子として屈辱と忍耐の少年時代を送ります。清衡の母は異兄弟・家衡を生みます。

その後、清原家の内紛(後三年の役1083~87年)で清衡は家衡に妻子を殺害されますが、家衡は清衡を支援した源義家に討たれます。そして、最後に清衡は出羽国、陸奥国の領土を得て、実父の藤原姓を名乗り、平泉の黄金文化を築くこととなります。また二代目基衡の妻も安倍氏の出であり、清衡、基衡は安倍氏とのつながりが極めて深いのです。

このような悲惨な背景を考える寺として再興し、この菩薩を安置し、亡くなった親族の供養をしたと考えられますが、現在ではこれを証明する古文書は見つかっていません。



台座・光背を付けた全体像：修復前

修復前、この菩薩を安置し、亡くなった親族の供養をしたと考えられますが、現在ではこれを証明する古文書は見つかっていません。

TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS

EMC対策部品

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

チョークコイル

- スイッチング電源用ブーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用ブーストチョークコイル



情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援 おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格

CALS/ECインストラクター	10名
電子化ファイリング	2名
文書情報管理士	1級 1名
	2級 3名

代表取締役会長 早坂清吉 (昭和29年卒)

平成28年度 年会費・賛助金納入状況一覧 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

同窓会活動の財源としての年会費並びに賛助金を、皆さまにご協力いただきありがとうございました。
納入された方々のご芳名を記して、お礼に替えさせていただきます。本年4月に納入された方も記載しております。

	氏名	
昭16	福島 光男	
昭17	笹原 猛	
昭18	野村喜太郎	
昭19	青沼 康男	
昭20	後藤 雅久 高橋 昭典 日野 次朗	
昭22	大場 孝夫 松本 慶蔵 諸岡 久男 結城 雅巳	
昭23	半田 慶男	
昭24	我孫子静夫 門脇 健 小林 昭 齋藤 馨 三浦 澄能	
昭25	工藤英三郎	
昭26	相澤 清記 鈴木 桂吾 鈴木 俊男 角田 啓輔 谷地 森 税	
昭27	跡部 太一 天野 仁二 石川 久夫 氏家 明朗 大内 史彦 太田 徹 佐澤 正剛 佐藤 清勝 菅井 一	
	菅原 峯雄 瀬川 博義 中森 高 春田 紘輔	
昭28	佐々木修規 中川 裕雄 早坂 明久	
昭29	相沢 善徳 岩渕 瑞穂 小野 賢次 小川 春男 近江 誠一 大沼 悟 金原 章郎 金村 繁 菊地 務	
	佐藤 興市 佐藤 茂 佐藤 廣 関 信良 関口 克己 高橋 清亮 高橋 滄 高橋 勇悦 長浦 稠	
	早坂 清吉 八尋 恭平 湯本 良師	
昭30	相原 相 浅野 和夫 尾崎 光彦 門脇喜代志 門脇 敏明 岸 孝仙 岸 康男 木村 哲彌 京極 恒由	
	小松 伍郎 佐々木英三 佐々木 豊 佐藤 輝久 佐藤 寿哉 鈴木 貞清 諏訪 政志 瀬戸 順悦 曾根 研一	
	高橋 廣 塚田 容三 手島 篤郎 二階堂幸男 平野 武 堀越 五郎 三塚 正志 山中 廣志 横山 武	
	和田 勝義 渡辺 吉郎	
昭31	阿部 進 相澤 昭男 浅野 平男 浅野 森男 安住栄喜男 生亀 功 石川 勝夫 大石 隆一 奥村 信良	
	木村 智明 熊谷 正俊 福原 克彦 松谷 嘉男 森 茂樹 森谷 文彦	
昭32	遠藤 康光 大森 英樹 木戸 秀彦 北村 武行 佐々木勝也 下屋 勝 竹谷 靖夫 野田 利美 沼倉 和雄	
	原 清三 門間 俊二 渡辺 光夫	
昭33	大友 正行 大山 隆志 小堺 勉 佐々木光一路 佐藤 厚 菅原 富男 鈴木 節夫 鈴木 将夫 高橋 俊裕	
	成田 良元 野村 高義 早坂 英郎 藤本 幸昭 三浦 義明 森谷 拓夫 山口龍之助 結城 陸夫 渡邊 紘也	
昭34	青沼 行雄 出雲 義朗 後藤 孝 村上 金吾	
昭35	阿部 信雄 伊藤 勝利 宇佐美 潔 梅沢 和男 大沼 直紀 黒岩 弘一 今野 正弘 佐々木恭二 佐々木武磨	
	佐々木庸二 鈴木 啓次 鈴木 樽昭 中鉢 育玄 早坂 尚 細谷 俊夫 我妻 一美	
昭36	江崎 肇 大益 弘 大曾根秀憲 片倉 康 鹿野 軍勝 菅野 俊次 児玉 隆行 佐藤 宗博 齊藤 武夫	
	鈴木 幹 高橋 幸裕 千葉 昇 中鉢 国昭 藤本 義明 枅澤 敬 松崎 仁也 吉田 二郎 我妻幾久寿	
昭37	阿部 孝 相澤 利重 佐藤 八一郎 渋谷 孝 杉野 邦熙 田口 正志 千坂 孝夫 中鉢 泰平 本田美喜夫	
昭38	阿部 重人 飯塚 洋 大曾根 昇 大場 孝 門脇 幹紘 菅野 英俊 木村 康之 佐々木恭次 佐藤 勝昭	
	菅原 清春 高橋 忠世 宮本 信夫 遊佐 義男	
昭39	石堂 達夫 上野 正司 菊地 忠信 菊地 義信 後藤 雍正 笹原 誠一 菅原 静 高橋 勝雄 千葉 則道	
	細野 利行 前沢 義隆 渡邊 則夫	
昭40	庄司 昭也 手島 秀明	
昭41	相澤 健二 石川 厚 狩野 民生 菊地 務 今野 忠雄 佐々木宗實 高橋 秀之 八木 正志 渡邊 幸之	
昭42	大友 文博 木村 智則 酒井 信一 佐々木昭美 佐々木文安 佐々木正雄 佐藤 勉 澁谷 誠一 大黒 恒光	
	三浦 和夫 森谷 里美 門田 芳司	
昭43	遠藤 卓三 佐々木 博 門間 勝	
昭44	相沢 次雄 岡村 明 岡本 悦男 鈴木 信正 角田 耕一 山中 政法	
昭45	荒川 忠一 猪股 謙二 岩瀬 昭典 鬼沢 愼一 小畑 伸一 角張 信隆 佐々木 質 佐藤 実 只野 祐	
	馬場 博 藤井 茂樹 茂庭 進	
昭46	今川 和彦 遠藤 孝 笠間 邦彦 加藤 伸 佐々木 明 鈴木 博 高堀 昭己 新堀 豊 森谷 隆	
昭47	相澤 司 高橋 光 松木 秀一	
昭48	伊藤 健二 石川 克城 加藤 敏朗	
昭49	早坂 正	
昭50	早坂 明彦	
昭51	阿部 重光 早坂 時男 道家 篤夫	
昭52	阿部 眞	
昭53	浅野 正則	
昭55	亀井 明 佐々木三男	
昭61	渡邊 博之	
昭62	相澤 政宏	
平01	小嶋 浩二	
平11	菊地 宏幸	

『年会費・賛助金
ご協力のお願い』

昨年度の収支は、皆様
方の年会費・賛助金のご
支援の下に10年振りに黒
字になりました。

年会費納入者は記載の
とおり277名と昨年比
減少しておりますが、賛
助金協力者は140名と
倍増しました。

ひとえに皆様方の厚い
支援と感謝しております。

年会費は物故者及び転
居先不明が関係して減っ
ておりますが、引き続き同
窓会活動の為に賛助金も
併せてご支援くださいま
すようお願いいたします。

在京同窓会事務局

※氏名不詳 (平成28年7月19日、ゲートシティ大崎局からお振込みの方、事務局までお名前をご連絡下さい)

会員通信

●高齢のため、新年会を欠席致します。どうぞ皆様によりしくお伝え下さい。(S20後藤雅久)

●本年よりフリーになり、米寿ですの後、はゆつくり余生を楽しみます。(S22松本慶蔵)

●各位様の御健勝御多幸を祈ります。年毎に同級生逝き、残り少なくなりました。(S22結城雅臣)

●故郷を離れて遠くなり、テニス、登山で若い頃をすこしました。体力、特にヒザの方が弱っています。(新年会に不参加します。)(S23大金昭夫)

●年令相応の老化とマイナートラブルはあるが、根幹に異常はないが、家内の老い介護で外出が思うままにいかずというところです。お陰で料理の基本を学びました。(S24齋藤 馨)

●氣力はまだまだ十分ですが、妻の介助中心の日常から、専ら家中心の範囲での地域活動型に終始。また楽しからずやです。(S24三浦澄龍)

●春から夏場にかけて、両眼が白内障で、同時期に両眼手術したので約20日間程床に伏して養生して全快しました。(S26角田啓輔)

●84歳で7回目の酉年を迎えました。昨年末で税理士を廃業しました。(S26谷地森 税)

●新春には7回目の酉年を迎えました。体力の衰えを日を重ねる毎に感じています。週2回水泳教室に通い、400m前後泳いでいます。(S27氏家明朗)

●健康維持のため毎日30分歩いています。昨年からは読んでいる週刊紙「江戸三百藩」は、ようやく240番までよみました。残り60番あります。(S28早坂明久)

●家族の介護と、地元の人達と交流しています。(S29岩淵瑞穂)

●健康であることに感謝しつつ、与えられた天職に取組んでいます。皆様のご健勝をお祈りいたします。(S29登原歯科医院 近江誠一)

●水戸より38kmを車を運転し、常磐高速を利用して通勤、診療しています。(S29日敏記念病院 金原章郎)

●本年81歳となり、ボケ防止のため複合材料を用いた物作りを(素材は繊維「炭素化学」セラミックス)し続けたい。(S29菊地 務)

●陶仏(野仏) 製作 尺八(古典、童謡、演歌) 同窓会運営に御協力されておられる皆様方に心より返す返す御苦労様とお礼申し上げます。本年も宜しくお祈り致します。(S29湯本良師)

●二健康と多幸を祈ります。(S30門脇喜代志)

●何とか元気に毎日を過しています。(S30門脇敏明)

●私も80になりました。カルチャーセンターに2ヶ所。町会の役員をやっています。今年もがんばります。(S30小松伍郎)

●昨年は卓球大会に12回参加しました。今年も維持したいと思っております。(S30横山 武)

●昨年80歳になりました。行動半径は年々短縮していますが健康に恵まれ、のんびりやっています。(S30和田勝義)

●早期胃がんで胃を3/4切除後10年経過。高現で日々楽しく修業に励んでいます。一生続けようです。(S32下屋 勝)

●10月11日初にかけて地中海クルーズに行ってきました。63ヶ国2千名、日本人69名でした。ハロウィンに丁度当り、楽しい思い出を思い出しました。日本人は遊び方が下手と今更感じた次第です。(S32野田利美)

●シニアグループのテニスを楽しみ、健康を維持しています。(S32門後俊二)

●残念です。1/23から飛鳥2によるアジマパシフィッククルーズ3月27日まで7ツアアの為に。次回(新年会)は是非、中道障害者の自立・社会参加の支援のボランティア・サポートも5年目に入りました。重度の方が多くなりました。支援の輪も全国に広がりました。(S33早坂英郎)

●歳と共に声も低く弱くなり、肺活量も低くなって来たので、肺活量回復の為フルト教室へ通っています。(S33三浦義明)

●膝関節疲労破壊し、長距離歩行能力喪失。今はトボトボ老人。(S33渡邊敏也)

●暮らしの原点を理想として、簡素で極小な生活を目指しています。団地は3DKですが、荷物を捨てるのに苦労しています。(S34青沼行雄)

●日々、散歩等支障なく過しております。近くの医療にて毎月兼他で通院し、2ヶ月に1回、2つの病院を検査の為に通院しております。(S34村上金吾)

●後期高齢者の仲間入り後、体調を崩し一時入院。現在は自宅で療養に専念しておりますので、今回は(新年会)を欠席いたします。(S35梅澤和男)

●12月初旬、昔赴任していたタイのバンコックに妻と2人で約1週間、タイの親しい仲間達と再会しリフレッシュしてきました。(S35我妻一美)

●群馬県立がんセンターに入院治療中(7ヶ月)。現在通院治療中(11回/週)。入院前までは孫(小4)と社交ダンス競技会に出場など、ダンスにはまっています。会長とは同期、頑張ってください。(S36阿部 浩)

●腰痛手術後5年が経ちました。一向に良くなり、近々車椅子になります。残念ながら合同新年会始め、同窓会すべて以後欠席となります。長い間お世話になりました。(S36菅野俊次)

●狭い庭で腰を曲げて、雑草と格闘、抜いても抜いても生えてくる。春・夏・秋・冬と色々な雑草、たまにはかわいらしい花をつける。繁殖力の旺盛さに感心しながら、生命力の強さ、雑草に負けないように、自分も体から自由自在に動かす。健康寿命を夢みながら。ふとあることを思い出す。昭和天皇のお言葉「雑草という名の植物はない」「命あるものだから草を踏んではいけない」世の中には不要なものはない。(S36佐藤宗博)

●養生訓で益軒は「人の命は我にあり、天にあり」天からの授かりものではない。天養生の第一歩は内欲を我慢すること。食べ過ぎ飲み過ぎの我慢は、この時代(江戸中期)でも必須項目で物欲、金銭欲、色欲などの内欲をいかにやり過ぎず健康の秘訣と言われ、今年もやり過ぎずいる自分も、今年も後期高齢者の仲間入りだ。(S36高橋幸裕)

●74歳、只今現役で仕事を続けております。(S36中鉢国昭)

●日タスポーツジムで「ほけ」防止の為、エアロビクスダンスをしています。(S36高橋上智吉)

●現役で働いています。昨年9月母校を55年ぶりで訪ねました。友、仲間、皆さんの声が聞えて来るようでした。木造校舎が懐かいですね。(S37西村青果 孝)

●多病を抱えながら現役生活を続けるため、沢山の薬を服用しています。二無二少三多のライフスタイルを心がけていますが、三多が実行できず90回目の年男です。(S38いわき市高谷リニック 阿部重人)

●仕事(5年目)・バスの送迎と用務員)とお酒は順調ですが、マラソンが下降気味です。(新年会)で、皆さんの元気な顔を見て力をもらいます。(S39笹原誠一)

●公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会にて、毎日元気に働いています。(S41高橋秀之)

●謹啓、各位に於かれましては「ご清祥の段、心よりお慶び申し上げます。扱此度、オリンピック種目に空手道が正式に決定致しました。大変喜ばしく存じます。海外から帰ったスポーツとの関連性を明確にして欲しいと願って止みません。組手も形競技も日本の伝統お家芸なものですから健闘をお祈りいたします。OB諸氏と在校生諸君の更なるご健勝を心より祈願申し上げます。御座います。(S42全日本空手道連盟 森谷里美)

●今年も過去二年、世の中の変動多い中、何事も無事に過ごせるよう祈っております。(S44相澤次雄)

●四校合同新年会の存在を、今回初めて知った次第です。楽しみにしております。(S44山中政法)

●右腕上がらなくなり、3月に手術しましたが更に悪化しリハビリ中で、左手添えて食事やペンを使っていますので、大衆の前に出られませんが、もう一度手術し、再来年出席したいと思っております。(S45馬場 博)

●自営になって4年。なんとか頑張っています。毎日です。夜11時まで、小学生達とすごしている毎日です。(S47青葉教育研究所 高橋 光)

●2017.8でJr退職となります。(S51JR東日本 森 明彦)

●父親は宮城県立高校、息子は東京の私立と三代で教員となりました。(S53江戸川学園取手中・高等学校 遠藤 淳)

心よりご冥福をお祈りいたします

福島 光男氏(昭16年卒) 平成28年12月20日
岡本 昭氏(昭26年卒) 平成28年8月6日
岩淵 弘氏(昭27年卒) 平成29年1月16日
岸 康男氏(昭30年卒) 平成28年11月21日
中澤 丙吾氏(昭30年卒) 平成28年
長沼 三郎氏(昭32年卒) 平成27年2月
嶺岸 宗氏(昭35年卒) 平成27年8月29日
三浦 仁哉氏(昭42年卒) 平成28年5月13日

編集後記

4月19日、朝起きたら家の近くの拡声器から「ミサイルが着弾する可能性があるので屋内に避難して下さい」という放送があり「始まったか」と一瞬思った。しばらくして誤報との放送があった。しかし北朝鮮の攻撃に対して日本は大丈夫なのか改めて考えさせられた。大都市へのミサイル攻撃があった場合の防御や市民の対処方法について私たちはあまりに関心しなかった。私たちの常識では考えられない国が隣にある。国会で毎回くだらないゴシップを取り上げ生産性のない議論をし、それをマスコミ各社が面白可笑しく放送するというこの繰り返し。政治家は非常時への対応をしっかりと議論してほしい。マスコミもジャーナリズムの本質をしつかり再認識すべきと思う。現在のマスコミの報道はバラエティショー並みで付加価値のない「マスゴミ」に近いと思う。(大友)

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 鈴木 博 (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階 (虎ノ門合同事務所)

TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493 E-mail : hiro0917@toranomon-ssta.com



エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。FORTEC モータースポーツオイル発売元 耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一 (昭和42年卒) フォルテック株式会社 〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台4-5-23 TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687



http://www.fortec-oil.com/